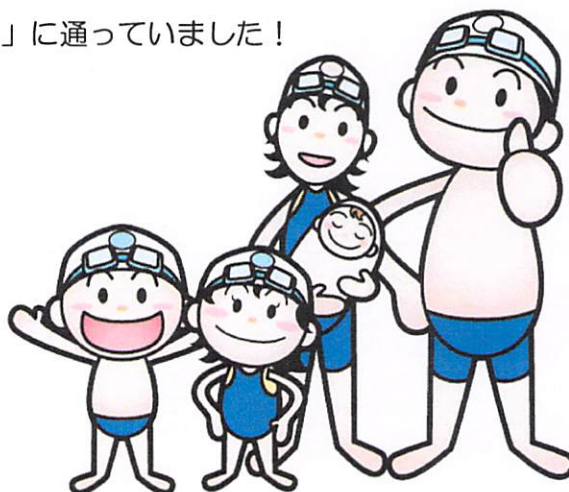


「JSS からメダリストが出るのには理由があります！」

「東大生」の64%が子供のころ「スイミングスクール」に通っていました！

とあるテレビ番組でそう紹介されました。

- | |
|------------------|
| 1位：スイミング 64% |
| 2位：音楽教室 42% |
| 3位：習字 29% |
| 4位：英会話 29% |
| 5位：体操教室 11% |
| ※「世界一受けたい授業」番組調査 |



一般の調査では習い事としての「スイミング」は約25%と報告されていますが、突出して東大生の「スイミングスクール」受講率が高いのはなぜでしょう？

筑波大学教授の安梅勅江先生によれば、

順位をつけない学校が増えているなかで、スイミングスクールのほとんどは能力に差をはっきりと付ける階級社会であることをあげ、そこで培った競争心が役立っているのでは？という見解でした。

スイミングでのステップアップ 適切な級に分けられ、一つ一つの目標を着実にクリアしていくことが、勉強にも大切。

そして時には失敗して、もう一度チャレンジする気持ちを作っていくからでは・・・と紹介されました。

実はその時のテレビに映った級設定（進級ワッペン）こそ「JSS」のものだったのです。

「初心者からの確な目標を与え、ステップアップ・くじけても失敗しても乗り越えていこうとする気持ちを育てていく！」

それが間違っていないから、JSSからはメダリストが出続けているのだと私たちは考えています。

